

資料展示「ここからはじめる、読書の世界」を実施しています。

- ▶ 普段、読書に関心の薄い青少年にも、読書の世界への関心を持ってもらえるような本を集めたポスター「ここからはじめる、読書の世界」(広島県立図書館／編 広島県読書推進運動協議会／発行 令和6年3月)を作りました。
その中で紹介されている本を、展示・貸出しています。
- ▶ 小説はもちろん歴史、伝記、科学よみもの、ビジュアル図鑑など多彩な本を展示しています。
- ▶ ぜひ取材にお越しください。

資料展示「ここからはじめる、読書の世界」

1 期 間 令和6年6月25日(火)～令和6年9月1日(日)

2 展 示 資 料
83点

【展示資料例】

- ・ 『さばの缶づめ、宇宙へいく-鯖街道を宇宙へつなげた高校生たち』
小坂 康之／著 林 公代／著 イースト・プレス 2022年
- ・ 『ヒロシマ消えたかぞく』 指田 和／著 鈴木 六郎／写真
ポプラ社 2019年
- ・ 『イノチノウチガワ-X線写真で見る生き物の世界』
アリー・ファン・ト・リート／写真 ヤン・パウル・スクッテン／文
野坂 悦子／[ほか]訳 実業之日本社 2022年



資料展示

ここからはじめる、 読書の世界

令和6年

6/25(火) ▶ 9/1(日)

令和6年

高校生向けお薦め本ポスター(※)より

※広島県立図書館／編集 広島県読書推進運動協議会／発行

令和6年3月

展示場所：青少年図書モデル展示
貸出しできます。貸出し中の資料は、予約できます。

展示詳細ページ

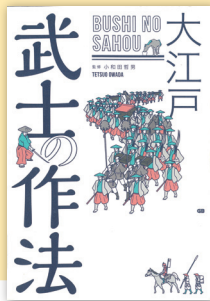




なぜ親はうるさいのか 子と親は分かりあえる?

●田房 永子 / 著 ●京楽堂 2021

“うるさかった”お母さんとの関係に悩んできた著者。なぜあんなにうるさかったのか？自らの経験をもとに、その理由をひも解きます。親との向き合い方について、漫画でやさしくアドバイスしてくれる本。



大江戸武士の作法

●小和田 哲男 / 監修 ●G.B. 2019

朝顔を育てたり、金魚の養殖をしたり…。これらはなんと、江戸時代下級武士の副業。たくさんのイラストと解説によって、服装・食事等の暮らしぶりから武術や役職別の仕事まで、武士たちの真の姿が浮かび上がる！



さばの缶づめ、宇宙へいく 鯖街道を宇宙へつなげた高校生たち

●小坂 康之 / 著、林 公代 / 著 ●イーストプレス 2022

本当にあった、世界初の「高校生による宇宙食」プロジェクト！
自分たちの作ったさば缶を宇宙飛行士に食べてもらう！という夢を現実にした、高校生たちの奮闘記。



好きのパワーは無限大 挫折から学んだ多くのこと、笑顔のヒミツがココにある

●ハラミちゃん / 著 ●KADOKAWA 2021

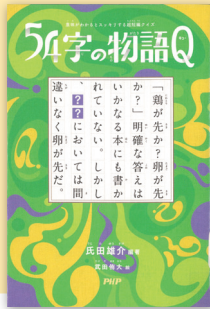
ストリートピアノの即興演奏で、聴く人を楽しみ笑顔にしてくれるハラミちゃん。その道のりには、挫折や、様々な人との出会いがありました。「いつだって、自分が笑顔でいられることを選ぶ」。ハラミちゃんの言葉に、きっと勇気と元気をもらえるはず。



目でみる方言

●阿部 敬史 / 文、山出 高士 / 写真 ●東京書籍 2023

“うどんさかった”お母さんの関係に悩んできた著者。なぜあんなにうるさかったのか？自らの経験をもとに、その理由をひも解きます。親との向き合い方について、漫画でやさしくアドバイスしてくれる本。



54字の物語Q

意味がわかるとスッパリする超短編クイズ

●氏田 健介 / 編著、武田 侑大 / 絵 ●PHP研究所 2022

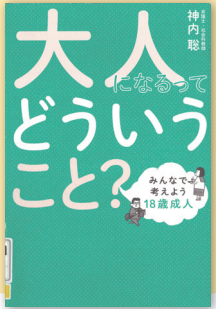
たったの54字で、クイズを出題します。難易度は★から★★★★★を超えるものまで、全部で80問！超短編小説「54字の物語」シリーズのクイズ版です。



みやぎから、

●佐藤 健 / 著、神木 隆之介 / 著 ●NHK出版 2022

佐藤健と神木隆之介が、震災から10年たった宮城を訪れ、地元の人たちと交流します。二人が取材を通して知った震災、水産、農業、ものづくり等について、現地での豊富な写真を交えて伝えています。



大人になるってどういうこと?

みんなでも考えよう18歳成人

●神内 聡 / 著 ●くもん出版 2022

法律では、18歳からが成人、つまり高校3年の誕生日で“大人”になる。成人したら何がかわるの？そんな疑問や大人として知っておきたい買い物やSNSなどのトラブル対処について、やさしく教えてくれる。



ここからはじめる、読書の世界



ヒロシマ消えたかぞく

A Family in Hiroshima: Their Vanished Dreams

●田内 健 / 著、鈴木 六郎 / 写真 ●ポプラ社 2019

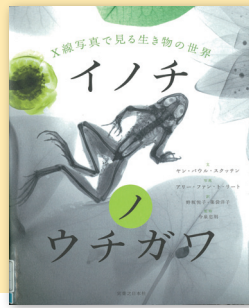
表紙には、ネコを背負ってほほえむ女の子。お父さんが撮った写真からは、戦中에서도笑顔あふれる家族の日常が伝わってきます。しかし、8月6日の原爆で、一家は全員、命を絶たれてしまったのでした…。



押す図鑑ボタン

●西村 まさゆき / 編・著 ●小学館 2022

ボタンがあると、押したくなるのはなぜ？開ける、止める、注文する、計算する、遊ぶ、演奏する…。様々なボタンの歴史や秘密を写真で紹介。身近な機械から生き物！まで、広くて深いボタンの世界。



イノチウチガワ

X線写真で見る生き物の世界

●アリー・ファン・トリート / 写真、ヤン・パウリス・スクッテン / 文 [ほか] ●美楽之日本社 2022

アマガエルの目玉は背袋よりも大きくて、モグラの指は6本あった…!?まるでアートのような美しいX線写真(レントゲン写真)で、生き物の不思議な世界をのぞいてみよう。



異世界に一番近い場所

ファンタジー系ゲーム・アニメ・ラノベのような現実の景色

●清水 大輔 / 著 ●パイインターナショナル 2019

絵？それとも写真？見ているうちにRPGの世界の中に迷い込んでしまったかのように錯覚してしまう。ネットの世界にはまった作者ならではの視点で撮った古代遺跡や地下神殿、迷宮などの写真集。



香君

(上・下)

●上橋 菜穂子 / 著 ●文藝春秋 2022

特殊な嗅覚を持つ少女、アイシャは、植物・昆虫や鳥などが放つ香りを、(香りの声)としてとらえていた。彼女はやがて、「香り」で万象を知る活劇(香君)のもと、奇跡の箱「オアシス」に秘められた、恐ろしい謎と向き合っていくことになる…。



逆ソクラテス

●伊坂 幸太郎 / 著 ●集英社 2020

僕たちの担任は、先入観から草壁(くさかべ)君に見下した態度をとる。先生の先入観を崩すべく、あの手この手で奮闘する僕らの前に、転機が訪れた！舞台は小学校。思いもよらない結末を迎える、5編の連作短編集。



野原できみとピクニック

●濱野 京子 / 著 ●福成社 2021

優弥が通うのは、裕福な家庭の子が多い私立の進学校。一方、希星(きらら)は、公立のいわゆる“底辺校”に通っている。「住んでいる世界が違う」優弥と希星(きらら)だが、あるきっかけで出会い、したいに引かれ合っていく…。



むかしむかしあるところに、 死体がありました。

●青柳 碧人 / 著 ●双葉社 2019

桃太郎、浦島太郎、一寸法師など、有名な日本昔話をミステリーにアレンジしたら、あの主人公が密殺殺人の犯人に!?



ここからはじめる、
読書の世界



まだまだ続くよ、
読書の世界(小説以外)



まだまだ続くよ、
読書の世界(小説)